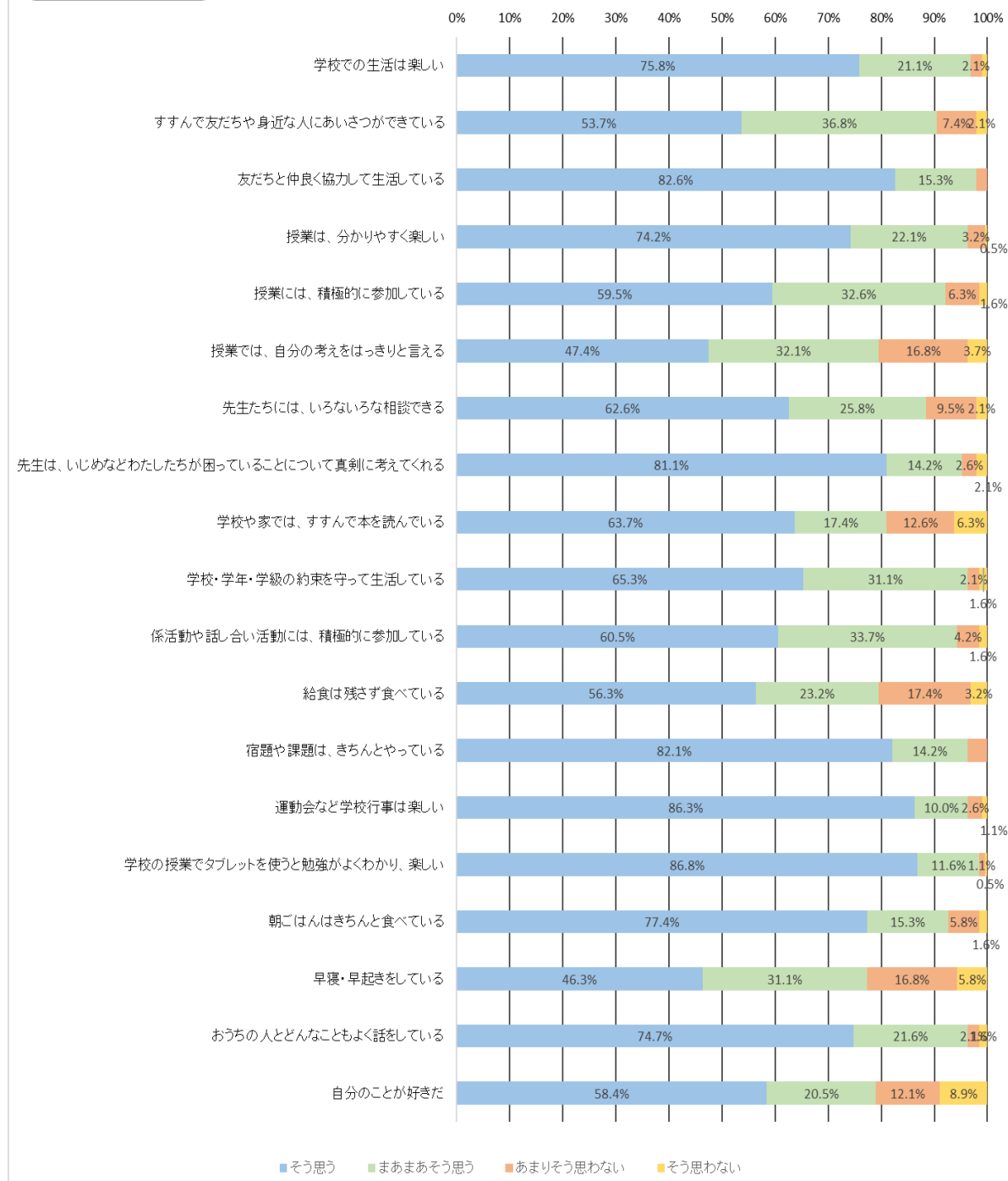


学校教育自己診断アンケートの結果について

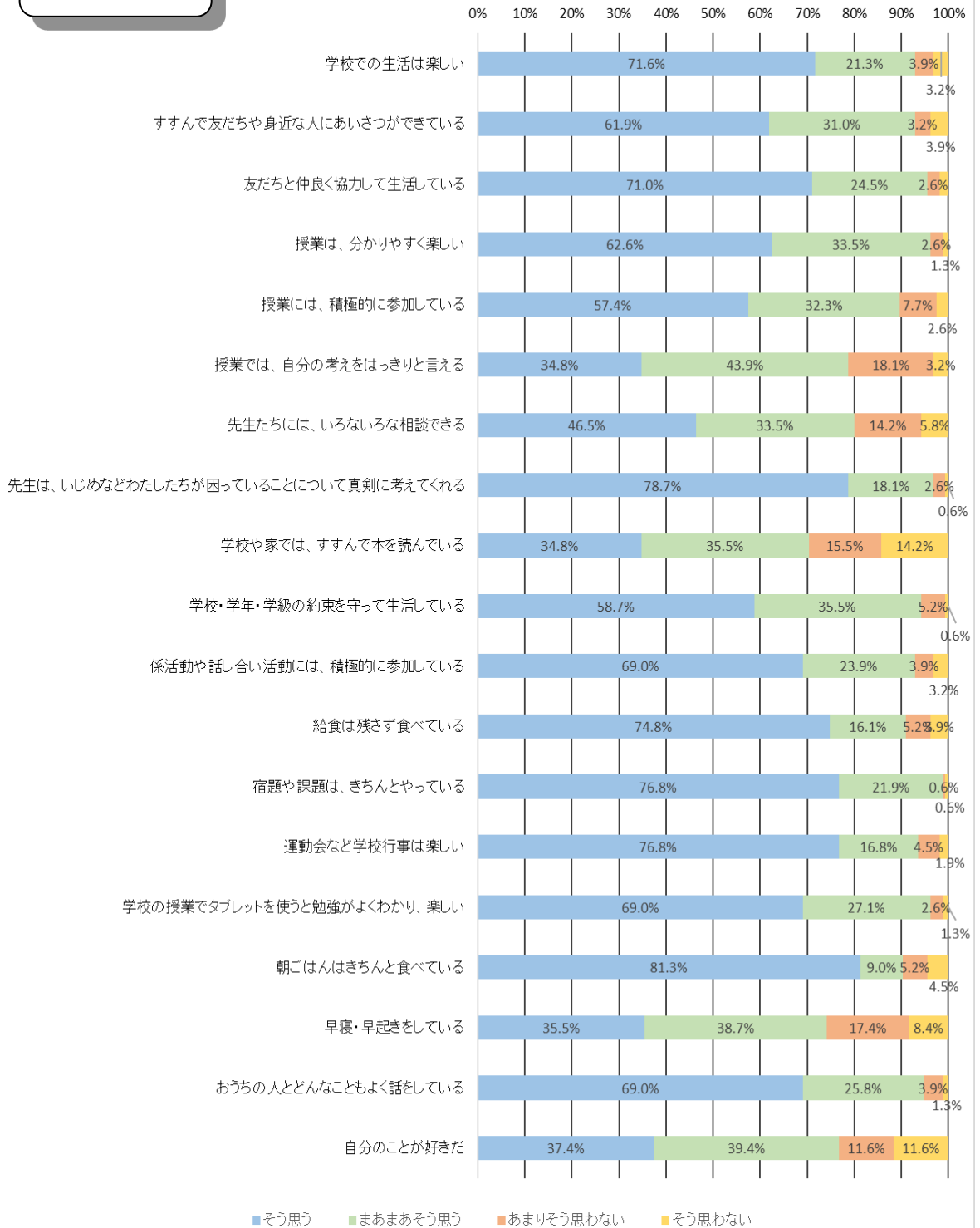
低学年

学校評価アンケート(低学年)



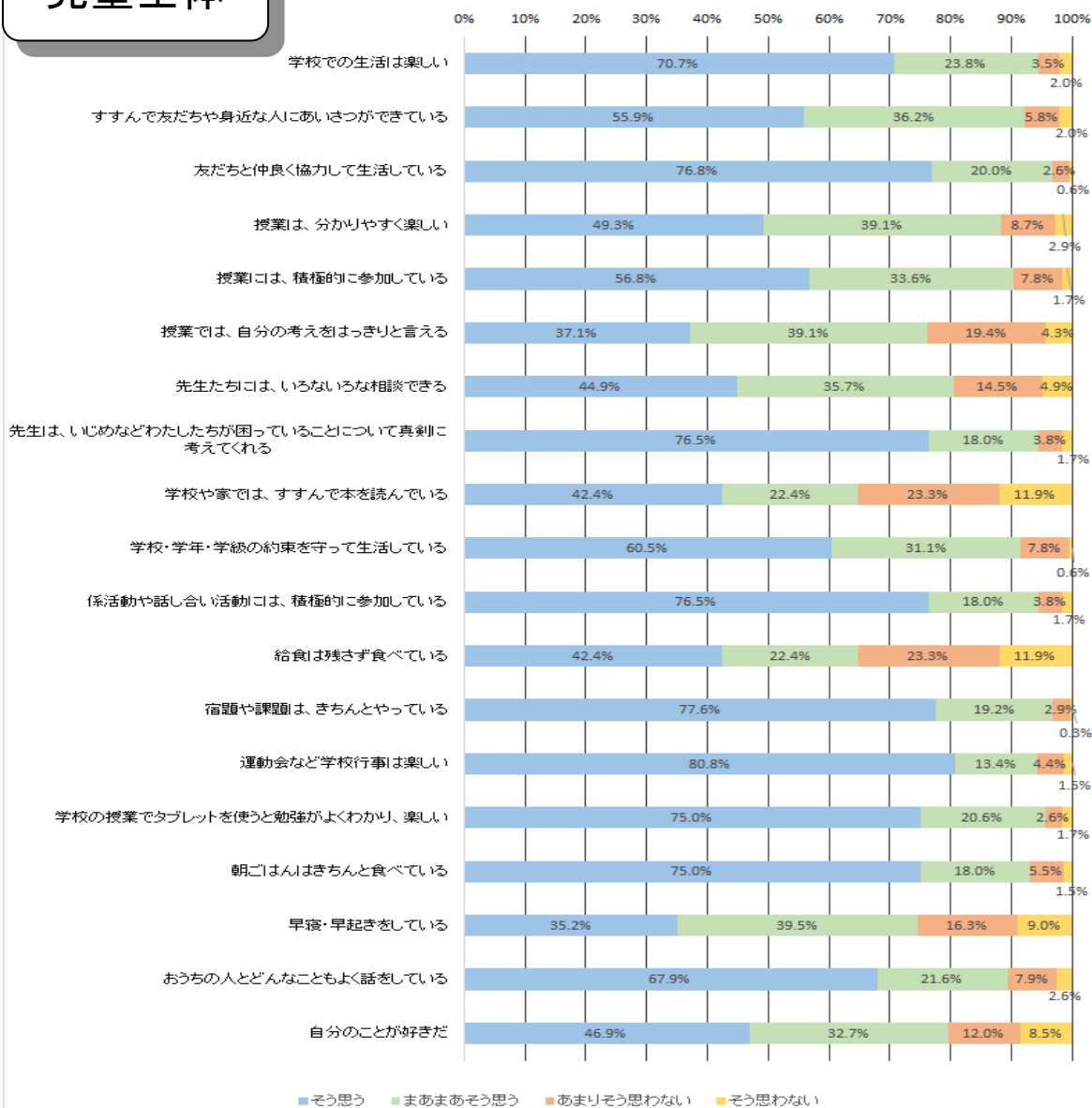
高学年

学校評価アンケート(高学年)



児童全体

学校評価アンケート(児童全体)



【児童アンケートより】

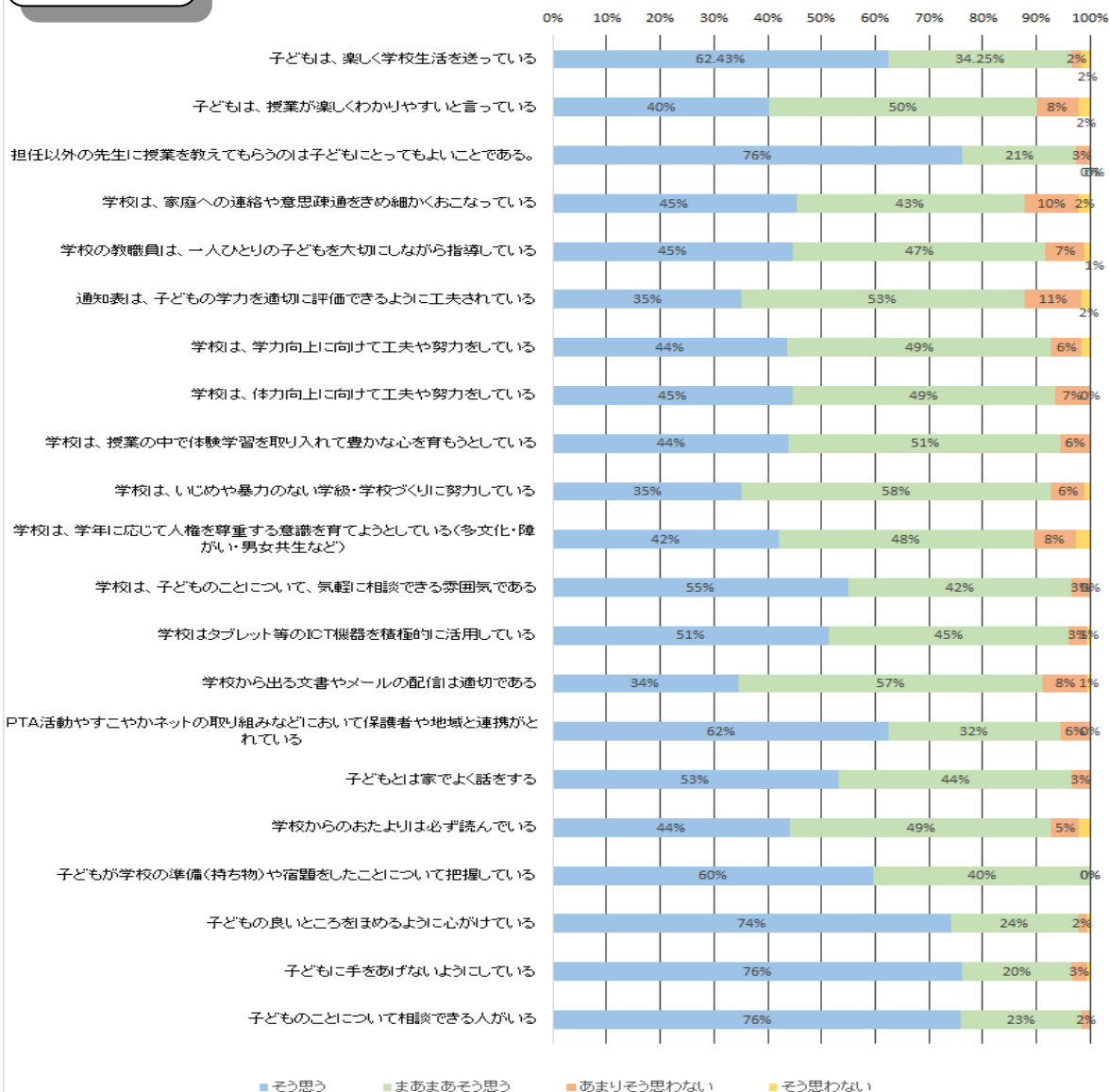
全国学力学習状況調査(全国の6年生が実施する学習と生活に関する調査)において「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という項目の肯定的な回答の全国平均が68.5%である。一方本校の「先生たちにはいろいろな相談できる」という項目の肯定的な回答が80.6%と非常に高い結果となっている。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という項目の肯定的な回答の全国平均が85.4%である。一方本校の「学校での生活は楽しい」という項目の肯定的な回答が94.5%と非常に高い結果となっている。

課題としては、「自分のことが好きだ」という項目において、20.5%の児童が自分自身に肯定的なイメージを持っていない結果となっている。重点的な課題として取り組んでいきたい。また、「先生は、いじめなどわたしたちが困っていることについて真剣に考えてくれる」という項目において5.5%の児童にとっては十分に頼れる存在になることができている。また、「学校での生活は楽しい」という項目において5.5%の児童は、楽しさを感じて過ぎせていない。割合として各クラスに数名いる児童にしっかりと目をむけて困り感をつかめる学校でありたいと考えています。

来年度は、アンケートで明らかになった課題解決のため、さまざまな取組みを行っていきたくと考えています。また、子どもたちが主体的に学習できる授業づくり、一人一人の気持ちを大切にできる学校づくりをして参ります。

保護者

学校評価アンケート(保護者)



【保護者アンケートより】

今年度は、62.8%と低い回収率でした。今回、アンケートに「任意」と初めて記載したことによる影響があったと考えています。「任意」と記載した中においてもご回答いただけたこと大変ありがたく感じております。またより実態に近い数値になったと考えております。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。「そう思う」・「まあまあそう思う」を合わせた『肯定的意見』は、多くの項目で90ポイントを超えていますので、おおむね理解が得られているものと思われます。

特に増加したのは、①「学校は、子どものことについて、気軽に相談できる雰囲気である」(+4.5ポイント)②「PTA活動やすこやかネットの取り組みなどにおいて保護者や地域と連携がとれている」については、「そう思う」が(+3.2ポイント)①については、アプリを通じてご意見をいただくことが多く昨年度よりも相談件数そのものが増加しているという実感があります。②についてはPTAの行事が数年ぶりに行われたことと関係があると考えています。

一方で、「学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かくおこなっている」という項目において10%を超える方から「不十分」であるご指摘いただきました。学校は、家庭と共通理解のもとで児童の成長を応援したいと考えています。非常に重く受け止めております。重点的に改善していきたいと思っております。

今後とも、よりよい向陽台小学校をめざして取り組みを進めますので、これからも忌憚のないご意見をいただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご報告と致します。